

ダイワ・アジアリート・ファンド (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第58期 (決算日 2020年 4 月14日)
第59期 (決算日 2020年 5 月14日)
第60期 (決算日 2020年 6 月15日)
第61期 (決算日 2020年 7 月14日)
第62期 (決算日 2020年 8 月14日)
第63期 (決算日 2020年 9 月14日)

(作成対象期間 2020年 3 月17日～2020年 9 月14日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信 (リート)	
信託期間	約9年10カ月間 (2015年 5 月7日～2025年 3 月14日)	
運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンドの受益証券
	ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド	アジア (日本を除きます。) およびオセアニア地域の金融商品取引所上場および店頭登録 (上場予定および店頭登録予定を含みます。) の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、アジアおよびオセアニア地域のリート (不動産投資信託) に投資し、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			アジアリート指数 (アジア部分、 配当込み、円換算)		アジアリート指数 (オセアニア部分、 配当込み、円換算)		投資信託 証券 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
34期末(2018年4月16日)	10,024	20	0.3	11,983	0.7	10,601	△ 1.4	95.5	673
35期末(2018年5月14日)	10,071	20	0.7	12,072	0.7	11,007	3.8	95.3	674
36期末(2018年6月14日)	10,146	20	0.9	12,243	1.4	11,280	2.5	95.6	672
37期末(2018年7月17日)	10,279	20	1.5	12,600	2.9	11,707	3.8	95.7	680
38期末(2018年8月14日)	10,119	20	△ 1.4	12,521	△ 0.6	11,418	△ 2.5	87.5	861
39期末(2018年9月14日)	10,222	20	1.2	12,741	1.8	11,710	2.6	87.7	871
40期末(2018年10月15日)	9,771	20	△ 4.2	12,187	△ 4.3	10,885	△ 7.0	86.2	842
41期末(2018年11月14日)	10,034	20	2.9	12,455	2.2	11,653	7.1	88.9	866
42期末(2018年12月14日)	10,327	20	3.1	13,153	5.6	11,814	1.4	89.5	890
43期末(2019年1月15日)	10,094	20	△ 2.1	12,885	△ 2.0	11,559	△ 2.2	89.7	869
44期末(2019年2月14日)	10,680	20	6.0	13,794	7.1	12,193	5.5	89.5	911
45期末(2019年3月14日)	11,016	20	3.3	14,262	3.4	12,619	3.5	92.1	959
46期末(2019年4月15日)	11,271	20	2.5	14,771	3.6	12,997	3.0	94.8	973
47期末(2019年5月14日)	10,898	20	△ 3.1	14,429	△ 2.3	12,305	△ 5.3	94.6	939
48期末(2019年6月14日)	11,237	20	3.3	14,862	3.0	12,838	4.3	94.8	752
49期末(2019年7月16日)	11,548	20	2.9	15,296	2.9	13,419	4.5	94.6	774
50期末(2019年8月14日)	10,841	20	△ 5.9	14,196	△ 7.2	12,815	△ 4.5	93.1	911
51期末(2019年9月17日)	11,222	20	3.7	14,898	5.0	12,759	△ 0.4	93.3	944
52期末(2019年10月15日)	11,359	20	1.4	14,863	△ 0.2	12,772	0.1	94.3	956
53期末(2019年11月14日)	11,179	20	△ 1.4	14,533	△ 2.2	12,847	0.6	93.8	941
54期末(2019年12月16日)	11,209	20	0.4	14,637	0.7	12,805	△ 0.3	96.3	941
55期末(2020年1月14日)	11,868	20	6.1	15,428	5.4	13,583	6.1	96.2	1,001
56期末(2020年2月14日)	12,062	20	1.8	15,179	△ 1.6	13,911	2.4	97.1	1,005
57期末(2020年3月16日)	9,727	20	△ 19.2	12,736	△ 16.1	10,007	△ 28.1	96.5	810
58期末(2020年4月14日)	9,022	20	△ 7.0	11,523	△ 9.5	9,016	△ 9.9	96.9	752
59期末(2020年5月14日)	9,215	20	2.4	11,931	3.5	8,818	△ 2.2	96.6	769
60期末(2020年6月15日)	10,090	20	9.7	12,819	7.4	10,287	16.7	96.8	843
61期末(2020年7月14日)	10,263	20	1.9	12,718	△ 0.8	10,412	1.2	96.9	857
62期末(2020年8月14日)	10,728	20	4.7	12,872	1.2	11,079	6.4	96.9	896
63期末(2020年9月14日)	10,816	20	1.0	12,889	0.1	11,370	2.6	97.0	904

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アジアリート指数（アジア部分、配当込み、円換算）は、S & P Global REIT Indexの構成国地域のうち、日本を除く Asia Pacific (Developed)、および Asia Pacific (Emerging) のアジア地域の構成国地域における前日の地域別の指数（現地通貨建て、配当込み）を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) アジアリート指数（オセアニア部分、配当込み、円換算）は、S & P Global REIT Indexの構成国地域のうち、Asia Pacific (Developed) の構成国地域、および Asia Pacific (Emerging) のオセアニア地域の構成国地域における前日の地域別の指数（現地通貨建て、配当込み）を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

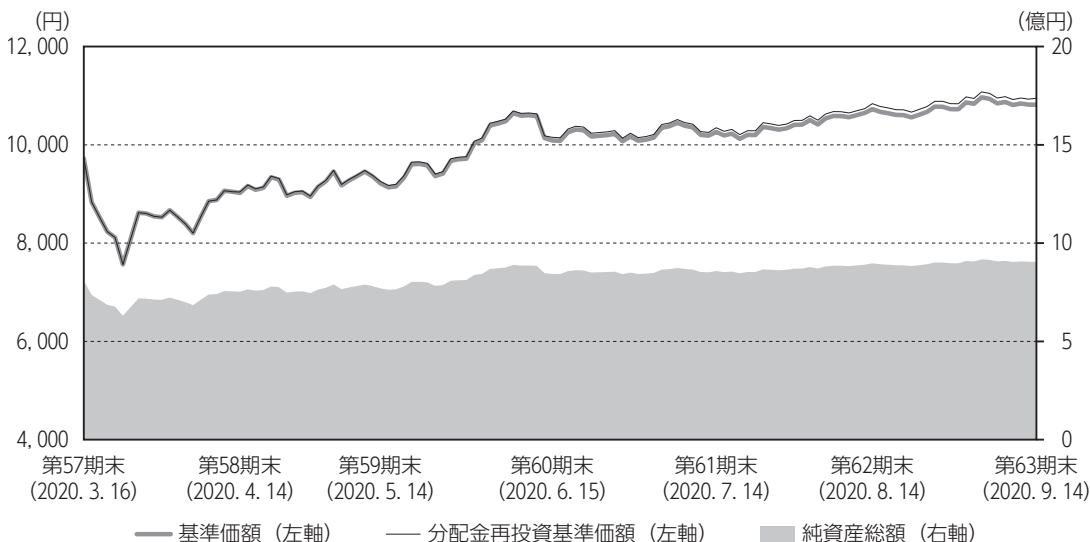
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 投資信託証券組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第58期首： 9,727円

第63期末：10,816円（既払分配金120円）

騰 落 率：12.5%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。世界的な金融緩和と積極的な財政政策、ワクチン開発への期待感などを背景に、シンガポールのリート市場が新型コロナウイルスの影響による下落から反発し上昇したことが、基準価額にプラスの要因となりました。また、投資家のリスク回避姿勢が後退したことを受けて、シンガポール・ドルとオーストラリア・ドルが円に対して上昇（円安）したことが、基準価額にプラスの要因となりました。

ダイワ・アジアリート・ファンド（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		アジアリート指数 (アジア部分、配当込み、円換算)		アジアリート指数 (オセアニア部分、 配当込み、円換算)		投資信託 証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第58期	(期首) 2020年 3月16日	円 9,727	% —	12,736	% —	10,007	% —	% 96.5
	3月末	8,528	△ 12.3	11,204	△ 12.0	7,458	△ 25.5	96.4
	(期末) 2020年 4月14日	9,042	△ 7.0	11,523	△ 9.5	9,016	△ 9.9	96.9
第59期	(期首) 2020年 4月14日	9,022	—	11,523	—	9,016	—	96.9
	4月末	9,258	2.6	12,063	4.7	8,818	△ 2.2	96.7
	(期末) 2020年 5月14日	9,235	2.4	11,931	3.5	8,818	△ 2.2	96.6
第60期	(期首) 2020年 5月14日	9,215	—	11,931	—	8,818	—	96.6
	5月末	9,718	5.5	11,810	△ 1.0	10,132	14.9	96.7
	(期末) 2020年 6月15日	10,110	9.7	12,819	7.4	10,287	16.7	96.8
第61期	(期首) 2020年 6月15日	10,090	—	12,819	—	10,287	—	96.8
	6月末	10,084	△ 0.1	12,592	△ 1.8	10,253	△ 0.3	96.7
	(期末) 2020年 7月14日	10,283	1.9	12,718	△ 0.8	10,412	1.2	96.9
第62期	(期首) 2020年 7月14日	10,263	—	12,718	—	10,412	—	96.9
	7月末	10,412	1.5	12,450	△ 2.1	10,576	1.6	96.8
	(期末) 2020年 8月14日	10,748	4.7	12,872	1.2	11,079	6.4	96.9
第63期	(期首) 2020年 8月14日	10,728	—	12,872	—	11,079	—	96.9
	8月末	10,725	△ 0.0	12,643	△ 1.8	11,499	3.8	96.8
	(期末) 2020年 9月14日	10,836	1.0	12,889	0.1	11,370	2.6	97.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 3. 17 ~ 2020. 9. 14)

■リート市況

アジア・オセアニア地域のリート市場は総じて戻り基調となりました。

当作成期首から2020年3月後半にかけて、アジア・オセアニア地域のリート市場は、下落傾向となりました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて世界経済の減速懸念が広がり、投資家のリスク回避の動きが強まりました。4月は、多くの国で発表された積極的な金融・財政政策や、長期的な資産価値と比較して割安なバリュエーションなどから、戻りを試す展開となりました。5月から6月前半にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発や経済活動再開への期待感などから、投資家のリスク選好が強まり、上昇傾向となりました。6月後半から7月にかけては、多くの国や地域で新型コロナウイルスの感染が拡大傾向となったことなどから、経済活動再開の遅れが懸念され、上値の重い展開となりました。8月から当作成期末にかけては、感染拡大が落ち着きつつある中、ワクチン開発進展への期待感や、世界的な金融緩和を下支えに持ち直しつつあるマクロ経済指標などを背景に、上昇傾向となりました。

■為替相場

オーストラリア・ドルやシンガポール・ドルが対円で上昇しました。

当作成期首から2020年5月にかけて、各国中央銀行による積極的な金融緩和政策の発表や、新型コロナウイルスの治療薬開発への期待感などから、投資家のリスク回避姿勢が後退し、円安オーストラリア・ドル高が進みました。6月前半には、経済活動再開への期待感や市場予想に反して改善した米国の雇用統計などから投資家のリスク選好が強まり、シンガポール・ドルやオーストラリア・ドルが対円で上昇しました。6月後半から当作成期末にかけては、世界的なリスク選好の高まりや鉄鉱石価格の上昇、また中国の景気改善への期待感などからオーストラリア・ドルへの選好が強まり、円安オーストラリア・ドル高が進みました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリュエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

ポートフォリオについて

（2020. 3. 17 ～ 2020. 9. 14）

■当ファンド

「ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

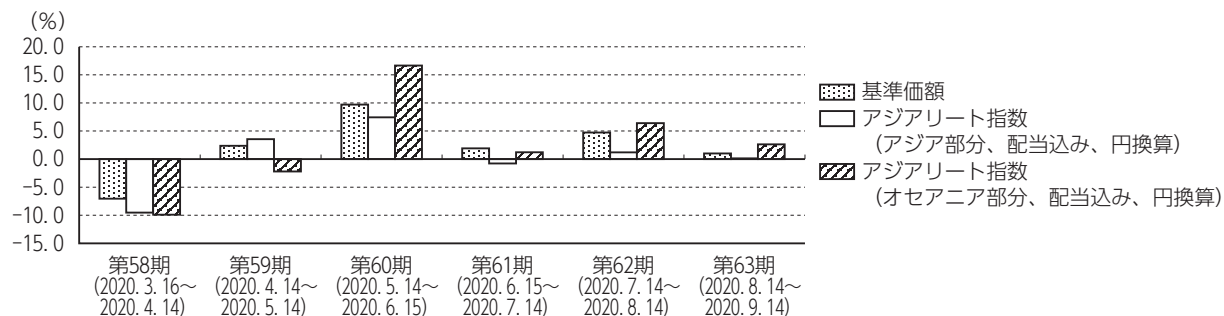
■ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

シンガポールを中心に世界でデータセンターを保有する KEPPEL DC REIT、オンラインショッピングの拡大などを背景に堅調な需要が期待されるオーストラリアの物流施設大手 GOODMAN GROUP、ハイテク・セクター向けのビジネススペースや物流施設などの工業用不動産を投資対象とするシンガポールの ASCENDAS REAL ESTATE、地域密着型のスーパーマーケットなどを主要テナントにかかえ、業績の安定性と成長性を両立させている香港の LINK REIT、オーストラリアや欧州で物流施設を保有するシンガポールの FRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL TRUSTなどを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
	2020年3月17日 ～2020年4月14日	2020年4月15日 ～2020年5月14日	2020年5月15日 ～2020年6月15日	2020年6月16日 ～2020年7月14日	2020年7月15日 ～2020年8月14日	2020年8月15日 ～2020年9月14日
当期分配金（税込み）（円）	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率（％）	0.22	0.22	0.20	0.19	0.19	0.18
当期の収益（円）	—	20	20	20	20	18
当期の収益以外（円）	20	—	—	—	—	1
翌期繰越分配対象額（円）	2,199	2,213	2,213	2,216	2,261	2,260

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円	✓ 34.08円	✓ 20.11円	✓ 22.89円	✓ 65.14円	✓ 18.59円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	554.38	556.09	557.97	558.94	560.02	561.10
(d) 分配準備積立金	✓ 1,664.80	1,643.11	1,655.32	1,654.48	1,656.32	✓ 1,700.39
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,219.19	2,233.29	2,233.41	2,236.32	2,281.49	2,280.09
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,199.19	2,213.29	2,213.41	2,216.32	2,261.49	2,260.09

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリュエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第58期～第63期 (2020. 3. 17～2020. 9. 14)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	81円	0. 823%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 847円です。
(投 信 会 社)	(39)	(0. 398)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0. 398)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0. 012	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(1)	(0. 012)	
有価証券取引税	0	0. 002	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0. 002)	
そ の 他 費 用	6	0. 056	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0. 040)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 014)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	88	0. 893	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

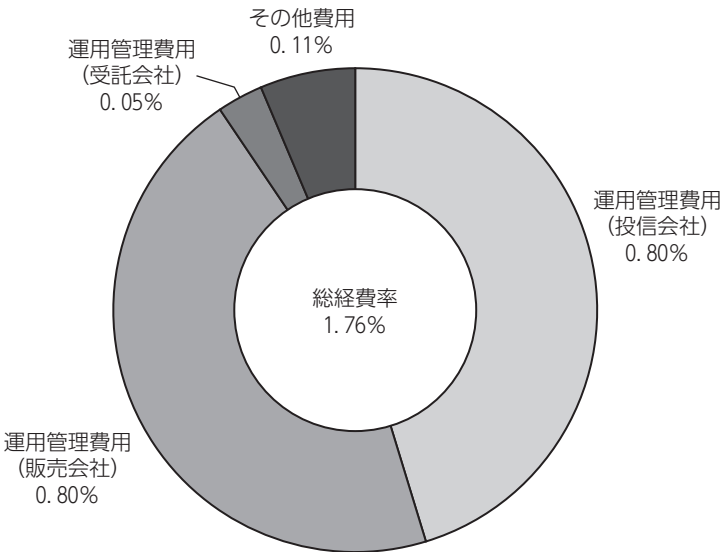
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年3月17日から2020年9月14日まで)

決 算 期	第 58 期 ～ 第 63 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・アジア 不動産投資信託 マザーファンド	2, 104	2, 200	13, 138	16, 200

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
235	—	—	235	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第57期末	第 63 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・アジア不動産 投資信託マザーファンド	681, 384	670, 350	900, 481

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年9月14日現在

項 目	第 63 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・アジア不動産投資信託 マザーファンド	900, 481	99. 2
コール・ローン等、その他	7, 334	0. 8
投資信託財産総額	907, 815	100. 0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月14日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106. 18円、1オーストラリア・ドル＝77. 26円、1香港・ドル＝13. 70円、1シンガポール・ドル＝77. 65円、1マレーシア・リンギット＝25. 56円、1タイ・バーツ＝3. 40円、1ユーロ＝125. 69円です。

(注3) ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンドにおいて、第63期末における外貨建純資産（986, 072千円）の投資信託財産総額（992, 416千円）に対する比率は、99. 4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年4月14日)、(2020年5月14日)、(2020年6月15日)、(2020年7月14日)、(2020年8月14日)、(2020年9月14日)現在

項 目	第58期末	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末
(A) 資産	755, 141, 093円	772, 117, 075円	846, 268, 274円	860, 760, 156円	899, 893, 676円	907, 815, 822円
コール・ローン等	5, 985, 949	6, 350, 633	7, 085, 148	6, 984, 815	7, 192, 917	7, 234, 121
ダイワ・アジア不動産投資信託 マザーファンド（評価額）	749, 155, 144	765, 566, 442	839, 083, 126	853, 775, 341	892, 700, 759	900, 481, 701
未収入金	—	200, 000	100, 000	—	—	100, 000
(B) 負債	2, 607, 721	2, 739, 567	2, 908, 295	2, 806, 950	2, 907, 898	2, 958, 670
未払収益分配金	1, 668, 196	1, 669, 846	1, 671, 595	1, 671, 989	1, 672, 181	1, 673, 168
未払解約金	—	18, 611	33, 962	—	—	2, 167
未払信託報酬	936, 416	1, 044, 528	1, 192, 198	1, 120, 701	1, 217, 421	1, 260, 829
その他未払費用	3, 109	6, 582	10, 540	14, 260	18, 296	22, 506
(C) 純資産総額（A－B）	752, 533, 372	769, 377, 508	843, 359, 979	857, 953, 206	896, 985, 778	904, 857, 152
元本	834, 098, 495	834, 923, 254	835, 797, 742	835, 994, 842	836, 090, 650	836, 584, 344
次期繰越損益金	△ 81, 565, 123	△ 65, 545, 746	7, 562, 237	21, 958, 364	60, 895, 128	68, 272, 808
(D) 受益権総口数	834, 098, 495□	834, 923, 254□	835, 797, 742□	835, 994, 842□	836, 090, 650□	836, 584, 344□
1万口当り基準価額（C／D）	9, 022円	9, 215円	10, 090円	10, 263円	10, 728円	10, 816円

* 第57期末における元本額は833, 552, 551円、当作成期間（第58期～第63期）中における追加設定元本額は4, 015, 466円、同解約元本額は983, 673円です。

* 第63期末の計算口数当りの純資産額は10, 816円です。

ダイワ・アジアリート・ファンド（毎月分配型）

■損益の状況

第58期 自 2020年 3月17日 至 2020年 4月14日		第59期 自 2020年 4月15日 至 2020年 5月14日		第60期 自 2020年 5月15日 至 2020年 6月15日		第61期 自 2020年 6月16日 至 2020年 7月14日		第62期 自 2020年 7月15日 至 2020年 8月14日		第63期 自 2020年 8月15日 至 2020年 9月14日	
項 目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	
(A) 配当等収益	△ 103円	△ 107円	△ 197円	△ 130円	△ 105円	△ 225円					
受取利息	4	—	—	5	7	—					
支払利息	△ 107	△ 107	△ 197	△ 135	△ 112	△ 225					
(B) 有価証券売買損益	△ 56, 130, 709	18, 810, 591	76, 012, 585	17, 189, 086	41, 822, 635	10, 280, 687					
売買益	720	18, 811, 298	76, 016, 796	17, 192, 215	41, 828, 797	10, 280, 942					
売買損	△ 56, 131, 429	△ 707	△ 4, 211	△ 3, 129	△ 6, 162	△ 255					
(C) 信託報酬等	△ 939, 525	△ 1, 048, 001	△ 1, 196, 162	△ 1, 124, 421	△ 1, 221, 466	△ 1, 265, 039					
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 57, 070, 337	17, 762, 483	74, 816, 226	16, 064, 535	40, 601, 064	9, 015, 423					
(E) 前期繰越損益金	△ 55, 275, 055	△ 114, 008, 901	△ 97, 908, 065	△ 24, 754, 887	△ 10, 356, 941	28, 570, 830					
(F) 追加信託差損益金	32, 448, 465	32, 370, 518	32, 325, 671	32, 320, 705	32, 323, 186	32, 359, 723					
(配当等相当額)	(46, 241, 566)	(46, 429, 667)	(46, 635, 444)	(46, 727, 798)	(46, 823, 511)	(46, 941, 181)					
(売買損益相当額)	(△ 13, 793, 101)	(△ 14, 059, 149)	(△ 14, 309, 773)	(△ 14, 407, 093)	(△ 14, 500, 325)	(△ 14, 581, 458)					
(G) 合計 (D + E + F)	△ 79, 896, 927	△ 63, 875, 900	9, 233, 832	23, 630, 353	62, 567, 309	69, 945, 976					
(H) 収益分配金	△ 1, 668, 196	△ 1, 669, 846	△ 1, 671, 595	△ 1, 671, 989	△ 1, 672, 181	△ 1, 673, 168					
次期繰越損益金 (G + H)	△ 81, 565, 123	△ 65, 545, 746	7, 562, 237	21, 958, 364	60, 895, 128	68, 272, 808					
追加信託差損益金	32, 448, 465	32, 370, 518	32, 325, 671	32, 320, 705	32, 323, 186	32, 359, 723					
(配当等相当額)	(46, 241, 566)	(46, 429, 667)	(46, 635, 444)	(46, 727, 798)	(46, 823, 511)	(46, 941, 181)					
(売買損益相当額)	(△ 13, 793, 101)	(△ 14, 059, 149)	(△ 14, 309, 773)	(△ 14, 407, 093)	(△ 14, 500, 325)	(△ 14, 581, 458)					
分配準備積立金	137, 193, 200	138, 363, 572	138, 361, 481	138, 555, 785	142, 257, 743	142, 134, 667					
繰越損益金	△ 251, 206, 788	△ 236, 279, 836	△ 163, 124, 915	△ 148, 918, 126	△ 113, 685, 801	△ 106, 221, 582					

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	2, 845, 858円	1, 681, 088円	1, 914, 047円	5, 446, 356円	1, 555, 615円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	46, 241, 566	46, 429, 667	46, 635, 444	46, 727, 798	46, 823, 511	46, 941, 181
(d) 分配準備積立金	138, 861, 396	137, 187, 560	138, 351, 988	138, 313, 727	138, 483, 568	142, 252, 220
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	185, 102, 962	186, 463, 085	186, 668, 520	186, 955, 572	190, 753, 435	190, 749, 016
(f) 分配金	1, 668, 196	1, 669, 846	1, 671, 595	1, 671, 989	1, 672, 181	1, 673, 168
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	183, 434, 766	184, 793, 239	184, 996, 925	185, 283, 583	189, 081, 254	189, 075, 848
(h) 受益権総口数	834, 098, 495□	834, 923, 254□	835, 797, 742□	835, 994, 842□	836, 090, 650□	836, 584, 344□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
	20円	20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

運用報告書 第11期（決算日 2020年9月14日）

（作成対象期間 2020年3月17日～2020年9月14日）

ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

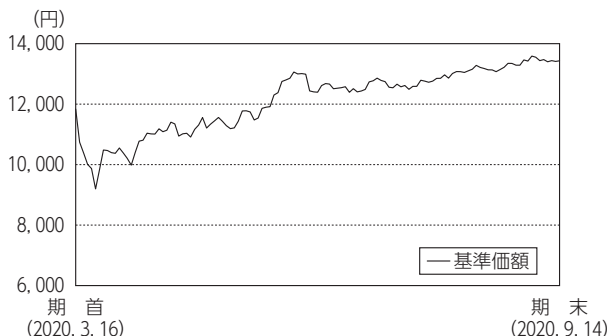
運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	アジア（日本を除きます。）およびオセアニア地域の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		アジアリート指数 (アジア部分、配当 込み、円換算)		アジアリート指数 (オセアニア部分、 配当込み、円換算)		投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2020年 3月16日	11,836	—	12,736	—	10,007	—	97.0
3月末	10,374	△12.4	11,204	△12.0	7,458	△25.5	96.8
4月末	11,307	△ 4.5	12,063	△ 5.3	8,818	△11.9	97.2
5月末	11,914	0.7	11,810	△ 7.3	10,132	1.3	97.1
6月末	12,405	4.8	12,592	△ 1.1	10,253	2.5	97.1
7月末	12,854	8.6	12,450	△ 2.2	10,576	5.7	97.2
8月末	13,286	12.3	12,643	△ 0.7	11,499	14.9	97.3
(期末) 2020年 9月14日	13,433	13.5	12,889	1.2	11,370	13.6	97.5

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) アジアリート指数 (アジア部分、配当込み、円換算) は、S & P Global REIT Index の 構 成 国 地 域 の う ち、日 本 を 除 く Asia Pacific (Developed)、および Asia Pacific (Emerging) のアジア地域の構成国地域における前日の地域別の指数 (現地通貨建て、配当込み) を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注 3) アジアリート指数 (オセアニア部分、配当込み、円換算) は、S & P Global REIT Index の構成国地域のうち、Asia Pacific (Developed) の構成国地域、および Asia Pacific (Emerging) のオセアニア地域の構成国地域における前日の地域別の指数 (現地通貨建て、配当込み) を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,836円 期末：13,433円 騰落率：13.5%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期の基準価額は上昇しました。世界的な金融緩和と積極的な財政政策、ワクチン開発への期待感などを背景に、シンガポールのリート市場が新型コロナウイルスの影響による下落から反発し上昇したことが、基準価額にプラスの要因となりました。また、投資家のリスク回避姿勢が後退したことを受けて、シンガポール・ドルとオーストラリア・ドルが円に対して上昇 (円安) したことが、基準価額にプラスの要因となりました。

◆投資環境について

○リート市況

アジア・オセアニア地域のリート市場は総じて戻り基調となりました。

当作成期首から2020年 3月後半にかけて、アジア・オセアニア地域のリート市場は、下落傾向となりました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて世界経済の減速懸念が広がり、投資家のリスク回避の動きが強まりました。4月は、多くの国で発表された積極的な金融・財政政策や、長期的な資産価値と比較して割安なバリュエーションなどから、戻りを試す展開となりました。5月から6月前半にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発や経済活動再開への期待感などから、投資家のリスク選好が強まり、上昇傾向となりました。6月後半から7月にかけては、多くの国や地域で新型コロナウイルスの感染が拡大傾向となったことなどから、経済活動再開の遅れが懸念され、上値の重い展開となりました。8月から当作成期末にかけては、感染拡大が落ち着きつつある中、ワクチン開発進展への期待感や、世界的な金融緩和を下支えに持ち直しつつあるマクロ経済指標などを背景に、上昇傾向となりました。

○為替相場

オーストラリア・ドルやシンガポール・ドルが対円で上昇しました。

当作成期首から2020年 5月にかけて、各国中央銀行による積極的な金融緩和政策の発表や、新型コロナウイルスの治療薬開発への期待感などから、投資家のリスク回避姿勢が後退し、円安オーストラリア・ドル高が進みました。6月前半には、経済活動再開への期待感や市場予想に反して改善した米国の雇用統計などから投資家のリスク選好が強まり、シンガポール・ドルやオーストラリア・ドルが対円で上昇しました。6月後半から当作成期末にかけては、世界的なリスク選好の高まりや鉄鉱石価格の上昇、また中国の景気改善への期待感などからオーストラリア・ドルへの選好が強まり、円安オーストラリア・ドル高が進みました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリュエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

◆ポートフォリオについて

シンガポールを中心に世界でデータセンターを保有する KEPPEL DC REIT、オンラインショッピングの拡大などを背景に堅調な需要が期待されるオーストラリアの物流施設大手 GOODMAN GROUP、ハイテク・セクター向けのビジネススペースや物流施設などの工業用不動産を投資対象とするシンガポールの ASCENDAS REAL ESTATE、地域密着型のスーパーマーケットなどを主要テナントにかかえ、業績の安定性と成長性を両立させている香港の LINK REIT、オーストラリアや欧州で物流施設を保有するシンガポールの

ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

FRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL TRUSTなどを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリュエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (投資信託証券)	1円 (1)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	6 (5) (2)
合 計	8

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
投資信託証券

当 期				期 付			
買 付		金 額		売 付		金 額	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
MAPLETREE LOGISTICS TRUST (シンガポール)	千口 120	千円 12,934	円 107	KEPPEL DC REIT (シンガポール)	千口 128	千円 19,716	円 154
SASSEUR REAL ESTATE INVESTME (シンガポール)	150	6,177	41				
FRASERS LOGISTICS & COMMERC (シンガポール)	100	5,524	55				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況
投資信託証券

(2020年3月17日から2020年9月14日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	アメリカ	千口 (ー)	千アメリカ・ドル (△ 1)	千口 (ー)	千アメリカ・ドル (ー)
	オーストラリア	千口 (6.915)	千オーストラリア・ドル (13)	千口 (ー)	千オーストラリア・ドル (ー)
	香港	千口 (1.72)	千香港・ドル (107)	千口 (ー)	千香港・ドル (ー)
国	シンガポール	千口 370 (2.593)	千シンガポール・ドル 323 (△ 9)	千口 128 (ー)	千シンガポール・ドル 258 (ー)
	ユーロ (その他)	千口 (ー)	千ユーロ (△ 3)	千口 (ー)	千ユーロ (ー)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国投資信託証券

銘 柄	期 首 □ 数	当 期 □ 数	期 末 評 価 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(シンガポール)	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
MANULIFE US REAL ESTATE INV	115.72	115.72	87	9,276
KEPPEL PACIFIC OAK US REIT	110	110	79	8,467
アメリカ・ドル通貨計	□ 数、金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	225.72 2 銘柄	167	17,744 <1.8%>
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリア・ドル	千円
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	4.867	4.867	13	1,022
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	46.256	46.256	142	11,007
RURAL FUNDS GROUP	85.705	85.705	195	15,097
CENTURIA OFFICE REIT	67.408	67.408	136	10,520
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	118.182	120.843	267	20,633
NATIONAL STORAGE REIT	81.758	83.307	155	12,003
APN INDUSTRIA REIT	9.542	9.542	24	1,924
SCENTRE GROUP	61	61	128	9,897
ARENA REIT	85.999	88.704	234	18,092
DEXUS	20	20	178	13,814
GPT GROUP	25	25	96	7,474
MIRVAC GROUP	50	50	103	7,957
STOCKLAND	60	60	216	16,734
GOODMAN GROUP	57	57	1,034	79,929
CHARTER HALL GROUP	30	30	372	28,740
オーストラリア・ドル通貨計	□ 数、金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	802.717 15 銘柄	809.632 15 銘柄	3,298 254,849 <25.7%>
(香港)	千口	千口	千香港・ドル	千円
YUEXIU REAL ESTATE INVESTMEN	130	130	482	6,607
SUNLIGHT REAL ESTATE INVEST	174	174	661	9,058
FORTUNE REIT	150	150	1,000	13,706
PROSPERITY REIT	350	350	812	11,124
LINK REIT	74	75.72	4,759	65,198
CHAMPION REIT	200	200	826	11,316
香 港 ・ ド ル 通 貨 計	□ 数、金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1,078 6 銘柄	1,079.72 6 銘柄	8,541 117,011 <11.8%>
(シンガポール)	千口	千口	千シンガポール・ドル	千円
KEPPEL DC REIT	519.35	391.35	1,127	87,518
FIRST REAL ESTATE INVT TRUST	190.686	190.686	81	6,366
FRASERS LOGISTICS & COMMERCI	440	540	734	57,026
SASSEUR REAL ESTATE INVESTME	—	150	112	8,735
CAPITALAND COMMERCIAL TRUST	244.7	244.7	411	31,921
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	293.48	293.48	959	74,519

ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

銘柄		期首	当	期末	
		□数	□数	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
		千□	千□	千シンガポール・ドル	千円
CAPITALAND MALL TRUST		295	295	581	45,126
SUNTEC REIT		150	150	222	17,238
MAPLETREE LOGISTICS TRUST		236.662	356.662	727	56,497
KEPPEL REIT		87.451	87.451	93	7,265
ESR-REIT		191.184	193.777	75	5,868
FRASERS CENTREPOINT TRUST		209.805	209.805	560	43,497
PARKWAYLIFE REAL ESTATE		105	105	413	32,123
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST		133.599	133.599	416	32,366
MAPLETREE COMMERCIAL TRUST		42.845	42.845	85	6,620
FAR EAST HOSPITALITY TRUST		192.388	192.388	105	8,216
OUE COMMERCIAL REAL ESTATE I		203.745	203.745	75	5,853
シンガポール・ドル通貨計	□数、金額 銘柄数＜比率＞	3,535.895 16銘柄	3,780.488 17銘柄	6,783	526,763 <53.1%>
(マレーシア)		千□	千□	千マレーシア・リンギット	千円
SUNWAY REAL ESTATE INVESTMEN		270	270	453	11,594
マレーシア・リンギット通貨計	□数、金額 銘柄数＜比率＞	270 1銘柄	270 1銘柄	453	11,594 <1.2%>
(タイ)		千□	千□	千タイ・バーツ	千円
CPN RETAIL GROWTH LEASEH-FOR		120	120	2,940	9,996
FRASERS PROPERTY THA-FOREIGN		240	240	3,600	12,240
IMPACT GROWTH REIT-FOREIGN		120	120	2,124	7,221
(非上場)					
CPN RETAIL GRO-F RTS		27.076	27.076	29	101
タイ・バーツ通貨計	□数、金額 銘柄数＜比率＞	507.076 4銘柄	507.076 4銘柄	8,693	29,559 <3.0%>
ユーロ (その他)		千□	千□	千ユーロ	千円
CROMWELL EUROPEAN REIT		180	180	77	9,728
ユーロ通貨計	□数、金額 銘柄数＜比率＞	180 1銘柄	180 1銘柄	77	9,728 <1.0%>
合計	□数、金額	6,599.408	6,852.636	—	967,250
	銘柄数＜比率＞	45銘柄	46銘柄		<97.5%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年9月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	967,250	97.5
コール・ローン等、その他	25,165	2.5
投資信託財産総額	992,416	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月14日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.18円、1オーストラリア・ドル＝77.26円、1香港・ドル＝13.70円、1シンガポール・ドル＝77.65円、1マレーシア・リンギット＝25.56円、1タイ・バーツ＝3.40円、1ユーロ＝125.69円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(986,072千円)の投資信託財産総額(992,416千円)に対する比率は、99.4%です。

■損益の状況

当期 自 2020年3月17日 至 2020年9月14日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	16,622,600円
受取配当金	16,611,761
受取利息	11,618
支払利息	△ 779
(B) 有価証券売買損益	103,006,051
売買益	159,045,451
売買損	△ 56,039,400
(C) その他費用	△ 483,914
(D) 当期損益金 (A + B + C)	119,144,737
(E) 前期繰越損益金	137,404,022
(F) 解約差損益金	△ 3,312,184
(G) 追加信託差損益金	339,748
(H) 合計 (D + E + F + G)	253,576,323
次期繰越損益金 (H)	253,576,323

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月14日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	992,416,230円
コール・ローン等	22,240,811
投資信託証券(評価額)	967,250,738
未収入金	721,578
未収配当金	2,203,103
(B) 負債	100,007
未払解約金	100,000
その他未払費用	7
(C) 純資産総額 (A - B)	992,316,223
元本	738,739,900
次期繰越損益金	253,576,323
(D) 受益権総口数	738,739,900口
1万口当り基準価額 (C / D)	13,433円

* 期首における元本額は748,567,464円、当作成期間中における追加設定元本額は4,260,252円、同解約元本額は14,087,816円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・アジアリート・ファンド(年1回決算型) 68,389,493円、ダイワ・アジアリート・ファンド(毎月分配型) 670,350,407円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,433円です。